

【刊夕】日二十二月八  
 定部一全金一錢五 一月五錢 郵稅五厘  
 廣告料五字 21號 5行 5日 祭日 休刊  
 發行所 常聲日報印刷株式會社  
 編輯所 常聲日報印刷株式會社  
 印刷所 常聲日報印刷株式會社  
 電話 三〇三六 常聲日報印刷株式會社

### 忍終不悔

眞繼 雲山

(下)  
 佛教の究意は己れを犠牲にして他を救ひ、人に施し世に奉仕すること以外にはない。そのためには、たとへ野末に朽ち果つるとも忍んで終に悔いなきといふのが佛教にいふ大悟一番底の體驗である。大經讚佛偈の末段には『我行精進忍終不悔』とある。

或る程度まで忍ぶことは凡夫、必ずしも能はざるにあらず、而かも遂には浩嘆、愚痴に終るのである。忍んで最後まで悔むないといふのが佛の誓ひであつた。如何にも悔ゆることなくば、それを大悟と言ひ得やう。そのやうに最後まで辛抱して、それで死んで仕舞うたらどうなりますと問ふ人もあらうが、そこに阿々大笑のほがらかな一境がある。金ぢや名譽ぢやといふて他人を蹴落し、藻掻いてみても、矢つぱり人生はそれだけの話である。禪林には『雪を負ふて井戸を埋めよ』との一句がある

石をほり込んでこそ井戸の埋まる道理はあれ、雪を背負ふてゐたのでは、たとへ何十回何百回飛び込んだとて、井戸の埋まる日はない

がその行事が衆生救済の一路であるとするからには、利害や打算を超出して道のために精進せよとの訓へである。

利害や打算は俗世間的成功法である。佛教は必ずしもそれを無視せよと言はぬがその成功法に固着して他人を押し退けてゐる間は、生死をなれ悟境に到るの時はない。固着を離るゝが出世間であり解脱である。



### 無量の秘密

大竹秋平作

流れゆるき小川の川岸に生ゆる小萩をよとうごく夕眉根やさしき賤の女一人をも何になやむや？

眞蕪うら葉に露帯びて香もあらん川岸の茂みが中を行き過ぬ

### 外科専門 花柳病

## 木村外科醫院

入院自炊の便あり  
 平町五丁目橋際  
 電話三〇九番



### ロイドの足が第一

東亞キネマ特作名篇：嵐寛壽郎：原駒子主演  
 右門捕物帳十六番 手柄

### 子を廻る人生

東亞キネマ現代劇：青木繁：川島奈美子  
 帝キネ超大作時代劇：圓徳磨：高木新平主演  
 時代の反抗兒 三十卷

### 有聲座

### 貸切の●●●

御用命は？

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

残りの中心は!!!  
 ジャツにレビユウに  
 國産愛用……  
 それから

### 金光堂の時計

時計、眼鏡、貴金屬類  
 蓄音機レコード其他  
 修繕物大勉強

目下人氣

平五丁目  
 電話一九五番

亡父久次郎新盆の處時  
 節柄提灯御供物其他一切御辭退申上候

昭和六年八月  
 月見町 根本一馬

寶鈴院新盆之處時節柄提灯  
 其他の御供物一切乍失禮御辭退申上候

平町才地小路一番地  
 鈴木郡司

亡父仁太郎儀神葬祭に  
 付新盆不仕御提灯等の御寄贈は御辭退申上候

八月二十一日  
 谷口長治

# 愛讀者への奉仕

## 川崎小鳥著

### 滿州土産談

四六版二百數十頁

## ◇月極讀者に無代進呈◇

本紙連載の川崎本社社長執筆「滿州土産談」は前後百回に亘り、滿州を鋭利な觀察眼に依つて、あらゆる方面より、縦横に解剖し、輕妙な筆致は、よく其の實相を捉え來つて餘す處なく、眼前に展開しました。本社は各方面の求望に鑑み、茲に多大な犠牲を拂つて、單行本となし日頃の御後援に酬えん爲め、讀者諸彦に、洩れなく無代進呈する事となり、目下印刷中であります。今や日支兩國間の交渉往來益々緊密なるに當り、滿州の近情を明らかに知る事は、轉じて我が國運の歸趨を卜すに足るべく、從つて國民必讀の文字は此の好著の全幅に飛躍して居ります、御期待を願ふと同時に本社  
の微衷を諒せられよ！

## 抵當權の設定が

### 千二件も増した

#### 昨年の同期に比較

#### 平區登記所の昨今

平區裁判所登記所本年度に於ける本日迄の受附件数は五千四十八件に達し昨年の同期に比較し増す事千二件其の中最も多いのは抵當權設定にて買此れに次ぎ其他は何れも抹消家督相續變更更正の登記等である

## 砂防工事完了

### 農民大喜び

水路埋没により豫て砂防工事の石城郡下小川村高鹽地内の小川江筋は二十一日浚渫工事完了をみたが是に

より四ツ倉町外下小川、神谷、草野、大浦、大野各關係村の灌漑用水は不自由しなくなつたので農民は漸く安堵した

## 稲作持直し 平年作

### 厄日が心配

但し一雨欲しい 石城地方の稲作は出穂期前の天候不良から半作を豫想されたが最近連日九十度以上の温度で天候順調をみてゐるので二十日同二十日の厄日さへ無事に通過すれば減切り持直したため平年作に漕付けの見込みがつかうが今の處雨欲しいと

## 兩者の主張に

### 甚だしい開き

#### 湯本町の斷泉問題 觸決至難と見らる

石城郡湯本の斷泉問題の係争化を避けるため過般來炭礦當局が寄り寄り折衝してゐるが磐炭側では施設費八萬圓經常費一ヶ月四百圓を要する今月の送湯繼續事業に對し經常費の折半負擔を主張してゐるに對して湯本町當局は一時金三千圓の支出により永久送湯を得んとしてをり解決至難とみられてゐる

## 平町人事

### 死亡

△立町一 鈴木米治氏(一〇〇)

## 平水道擴張

## 工事の説明

目下進捗中の平町上水道擴張工事が如何なる工程をたどつてあるか、昨日町當局の公表した説明書に依ると左記の如くである。

四、沈澱池 沈澱池は既設沈澱池に併行して東側に増設する其の構造大體に於て前設計と同様長方形とし上部三百三十尺同

## 今日話

珍採用難——子守入用、但し十五歳未満五十歳以上の方、御希望の方は御來店下さい——青森市大町梅田方では子守の募集廣告を出したところ來るワ、それが皆揃ひも揃つてダブ／＼と肉のたるんだの朝鮮人じんみたいにしなびたお婆さんばかり「あなたのお年は？」「ハハハヘチヘチでござええす」てなアンバイなので今更採用難にぶつかり「お暑いとこ御苦勞さまでした、採用者は決まりましたから(ウソばかり)まアお菓子でもおつまみなすつてお引取下さい」に「ハイ、ハイ、結構なお菓子で……ナムアミダブツ、ナムアミダブツ……」

は其の儘とし別に三百耗鐵管一條を増設し八幡小路配水池内高架水槽に達す此の延長壹千六百九十九間五分とす

七、高架水槽 高架水槽は配水池構内に設け水槽の大きさは内徑十八尺高さ七尺(水深六尺)の鐵筋混凝土造り圓形にして底部は水平とし側壁及底厚は何れも七寸五分の鐵筋混凝土打ちとす

八、配水池 配水池は既設配水池の西側に設け形状は長方形にして大きさは内法長八十三尺幅五十五尺五寸有効水深十二尺満水面の高さは基面上百五十四尺にして有効容量五萬二千立方尺を有す構造は凡て鐵筋混凝土造なり

九、配水管及經路 配水管は既設水道を併せ人口四萬人及鐵道給水一日二萬立方尺を給水するものとし一人一日の最大給水量四、五立方尺に對する一時間の最大給水量は一日最大給水量の一倍半とし毎秒の水量は三、四七立方尺なり之に防火用水各線四個を使用し得ることを見込み此の水量毎秒三、〇とし之を既設並に新設配水管の兩幹線に等分配水するものとす増設本管の口徑は將來人家の増殖を見込み給水區域内の面積に相當て水量を算定し配水管の口徑を定めたり

配水管は配水池内集合井を起点として既設線路に浴び在來敷設したる二百五十耗鐵筋混凝土管を廢止し更に四百耗鐵管に敷設替するものとす此延長百七十六間二分五厘なり同点より二五〇三〇〇耗の枝管を用ひ在來敷設したる二百五十耗鐵管

部に給水するものにして高架水槽により二百耗鐵管直配として既設二百耗鐵管に接續せしむ此の延長十三間重なる地域は八幡小路一圓及高架一圓とす他の配水池より直配するものは内徑三百耗鐵管を以て配水池を出て鼠坂を横斷し第二小學校前より揚土舊中學校前通りを経て搔樋小路二十四番地先十字路に至る此の間延長三百四十一間八分此の所に三百耗と二百耗二承丁字を取付將來人家増殖を見込み搔樋小路通りを北へ更に副管として延長するに差支へなき様装置とす又他の一方三百耗は三百耗×二百五十耗の片落管を取付け更に同所に二百五十耗阻水合併を据付け以て直線に町役場前

## 文藝募集

通りより平驛前を経て大工町十四番地先角に至る茲に於て右方面は既設百五十尺鐵管に取付け左折して左方面は二百五十耗鐵管に敷設替し鐵道横斷して仲間町七十六番地先既設百五十耗鐵管に取付け終る此の延長四百八十四間五分尙ほ配水管の種類及延長左の如し

|       |          |
|-------|----------|
| 種別    | 延長       |
| 内徑十二吋 | 三百四十一間八分 |
| 同 十吋  | 四百八十四間五分 |
| 同 八吋  | 十三間      |

# 盆火の眞只中を

## 乗馬隊走る壯觀

### 平藩政時代に於ける松焚火 平消防組沿革史中の一文獻

### 井上消防組頭語る

ジャンガラ念傳と盆踊り、そして松焚火は平町の舊歴十四、五、六の三日間に亘る盆祭りの郷土趣味 豊かな名物の一風景である、然も松焚火は生松をたぎ無駄にする事は不生産的な弊風である等と、花の山に長刀式の勿体らしい意見を吐く者もあるが依然祖先の遺風として一つの郷土色を濃厚ならしめて居る、一体

松焚火は 精靈の供養と共に害虫驅除の目的も多分に含まれて居るを傳へられて居るが此程縣の警察部が縣内消防史を編纂する資料として平消防組から提出した同組の沿革史に依ると此の松焚火に對する一つの文獻的考察と思はれる点がある、夫れに就いて

井上組頭 は次の如く語つた「藩政に在りては神社奉行が火事係を兼務し市内各町に火防人夫を設置し火災期には火の番の警備を爲さしめ出火の場合は城中の火事係と 火防人夫と

協力消火の任に膺り寺社奉行之を指揮監督したるものである、當時指揮者は執れも身に火事装束を纏ひ馬上に跨り馬提灯を携帶し目標とした馬は火を嫌ひ火を恐れる惡癖があるので火災に處する乗馬の訓練に苦心した模様である其一例を示せば

毎年七月 盆祭の三日間は市内の兩側に松割木敷を積累ね一齊に火をたき恰も一面火の海と化したのを合圖に火事装束を數回往復するの壯觀を現出したといふ是れ畢竟火中の乗馬を訓練し非常の場合に善所する 方法に備へんが爲めである、廢藩と共に乗馬隊は自然の廢止となつたが松焚火の古例は今も尙ほ現存し平名物の一と稱せられて居る

### 秋刀魚漁遅る

九月十日頃から

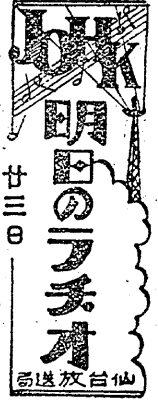
石城地方秋刀魚の昨年における最も早きものは八月二十七日に出漁してゐたが本年は陽氣が稍遅れてゐる關係から九月十日頃からなるであらうと見られてゐる

### 洋服地代で

### 突然執達吏

中間で横領 驚いて告訴

平町材木町洋服商蛭田忠治は昨年五月岐阜縣大垣市洋服商牧村甚平から洋服地百七圓三十五錢を買ひ受け手



今晚の部  
後六、〇〇 武勇童話「提燈と釣鐘」(一)江見水蔭  
後六、三〇 趣味の科學智識「血液の話」その一 醫學博士 林 暁  
後七、〇〇 全國ニュース  
官廳ニュースを含む 河  
北新報社 ニュース 氣象  
通報 告知事項 番組豫告  
後七、三〇 川柳講座「川柳の見方と作り方」(四)  
大谷五花村

偽電犯人の公判  
來月八日平支部に  
郵便局員吾妻源藏(三)に係る公文書偽造行使詐偽事件は豫審を終結し福島地方裁判所平支部に回送されたが此れが公判は來月八日午前九時より中島裁判長係り竹内關口兩陪席判事及び山本檢事立會の上支部公判廷に於て開廷すると

借りた覚えはないと  
どうしても返済せぬ  
餘りの態度に憤慨し  
とうとう表沙汰

内郷村大字宮石原善文は昨年六月小名濱町藤井斧三から二百五十圓を借りたが藤井が催促しても借りた覚えはないと返済しない爲め藤井は餘りの石原の態度に憤慨し二十二日平署へ石原を相手取り告訴した

比佐氏賜暇歸省  
二十一日後八時頃常磐線湯本驛前を徘徊する舉動不

瓜の吉野煮「榮養研究所」  
前九、三〇(子供の時) 武勇童話「提燈と釣鐘」二江見水蔭  
前一、〇〇 修養講座「生活の精神化」刈谷哲公  
前二、〇〇 講演「清みつ宗治の最期」學習院教授 瀨川秀雄  
正午 時報 氣象通報  
後三、〇〇 全國ニュース  
後四、〇〇(絃樂四重奏) ヴァイオリン エフゲンクレイン ヨイオラ 中村良治 チェロ 伊達三郎(獨唱)淡谷のり子(ピアノ)獨奏)山越八重子(フルート)獨奏)岡村雅雄(獨唱)平原壽恵子(チェロ)獨奏)淺野常七  
後三、四〇 氣象通報

吉田眼科病院  
平紺屋町、電話六八番

丹野 淳  
キヨ子儀新盆に相當候へ共時節柄提灯其の他供物一切御辭退申上候  
白銀町一五

鈴木善七  
亡母フヂ儀新盆之處時節柄提灯其の他御寄贈御辭退申上候 敬具  
八月二十二日  
二丁目(元福見屋)

# 小説 七五七

(十八)

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

【載轉禁】

女は上着の襟かけにふつ  
くらは盛上つた乳房のあた  
りを軽くたゞ美しい悪魔  
のやうな笑みをこぼした。

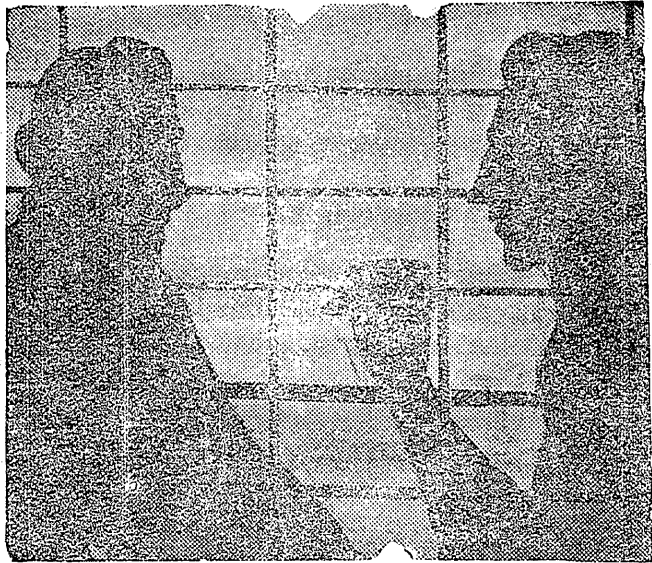
新橋の歌治は源之助と氣  
まづい仲になつてから、何  
といふことなしに面白くも  
ない日を数へてゐたと、或  
る晩のこと、向ふ河岸の湖  
月から口が懸つて来た。お  
客は二三度呼ばれたことの  
ある日本橋のある銀行の重  
役早乙女といふ人と書生と  
もつかず會社員ともつかぬ  
恐い顔の風體の怖い男たち  
四五人であつた、ちよつと  
顔を出してから次の間で棹  
をつないでゐた途端に、を  
やと思ふやうな座敷の語聲  
がふつと小耳に入つた。

『いやア實に痛快でしたな  
アあの老父が驚きやがつて  
蒼くなつた顔といつたらあ  
りませんでしたと、卒  
倒したといふ話です事實で  
せうか。』

『事實だよ。我々があつた三  
階にあがつてゐる間の出来  
事ださうだ。階下で打つ倒  
れて大騒ぎをしたといふこ  
とだが、つまり何だらう、  
示談してくれと泣きついで  
たのを我々がはねつけて』

ぐんぐん進行させたものだ  
から、彼はひどく氣を揉ん  
でとうとう逆上したものと  
見える、實に痛快、痛快、斯  
んな心持のよいことはなか  
つた、矢張り僕達にかゝつ  
ちや、如何にあの老父でも  
全く逃ぐるにみちなく自殺  
と言ふところだ。』

と天神を絞らあげて、一座  
の藝者衆と何か一言二語口  
をきいてゐた。と座敷の方  
では他の男がなにやら喋つ  
て居る。  
『いや、我々の経験による  
と債務者の人物如何に依つ  
て随分奇抜なことがある。  
對抗法もいろいろですよ。  
なかには急拵への第三者で  
質貸關係にしたり、薬人形  
の債権者に先廻りをして押  
へさせたり、ちやんと準備  
をして置いて執達吏なんか  
を藪蚊が飛んで来たぐらゐ  
にしか思つてゐない、づう  
づうしいのもあれば、へた  
なことをすりや逆捻の急訴  
よ。』



『小膽な奴ですな。』  
高調子でさう話してゐる  
のが早乙女と連れのお客の  
一人であつた。  
最初歌治は何處のことだら  
うと思つて格別氣にも止め  
ず、たゞ一生懸命に三味線  
に絃をかけてからさきさき

と出かけて、一年も二年も  
ずる／＼と引張つといて、  
債権者泣かせをやる老翁も  
ある。然うかと思ふとオロ  
／＼泣きをしながら子供の  
着換をかくしにかゝつて、  
嚇かされて、あがる女や  
我々を殺して下うなんて狂

人のやうに暴れ廻る正直者  
もありますよ。實に世間は  
十人十色、變つた奴もある  
もんですね。』  
『アハ、然うか。君等のや  
うに職業となつたらいろん  
なことに會すだらうねえ  
鬼に角く今日はお蔭で大成  
功だ。諸君大いにこれから  
飲んでくれたまへ。』  
『有難う、大々的に祝しま  
せう。』  
『時にいくらだつたかね。  
見積り價格は。』  
『差押へ物件のですか、あ  
れはちやうど合計二十一萬  
五千圓ですよ。』  
『さすがに十文字だね。な  
かなか凄いな牙へた腕前。實  
に君の偉大を僕は尊敬する  
よ。』

廣 告  
耳鼻咽喉科専門  
大和田醫院  
平町南町  
電一七〇〇  
藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話五〇七番  
上田科醫院  
平町南町  
電話二一九番  
市原醫院  
平町田町  
電話一四四番  
難波醫院  
平町新川町  
【釜屋新宅向】  
電話五〇二番

**梅毒 淋病**  
淋病 皮膚病 婦人病  
門專  
腸虫病 十二指  
**村松**  
腸胃病 胃性  
院醫科  
七〇一話電  
町南平

暑中御伺ひ  
**精幸堂時計店**  
高橋 幸  
平町搔繩小路  
電話呼六三三番

御 中 元  
來る廿二日より卅一日迄  
時計、眼鏡、貴金屬類  
其他……正札の  
壹割引大賣出し  
特に修繕物は勉強致します  
**星野時計店**  
(ヒ向ルビモトルマ) 目丁三平

**外科**  
X光線科  
性病科  
外科  
安齊外科醫院  
平町田町  
電話四七五番

募 集  
上品なる美人(十八才ヨリ廿五才)  
職務は食堂給仕 月收五十圓以上確實  
壽し職人一名 大 至 急  
習一名 大 至 急  
見 習一名 大 至 急  
**杵 壽 司**  
平町三丁目(電六七九)

債券・公債・爲替金融  
**多田井質店**  
平町大工町  
電話五九一番

婦人用傘特價品提供  
ツルヤ  
錢十五圓一。圓一。錢十九  
電140  
體操 體操  
體操 體操  
體操 體操  
體操 體操